

平群

Heguri

≡ 議会だより

9月定例会

No.283

令和3年11月1日

発行:奈良県平群町議会

第6回定例会(9月)

議決結果/質疑あれこれ	…P2~4
決算審査特別委員長報告	…P5~9
議会の動き/議員提出議案	…P9
総務建設委員長報告/請願文書表	…P10~11
町政を問う! 一般質問	…P12~17
町の話題/お知らせ	…P18



第6回定例会 こんなことが決まりました

第6回定例会は9月2日、24日まで23日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の22案件と請願1件が上程され、審議しました。このうち町長提出の11案件は即決し、昨年度的一般会計・各特別会計・事業会計決算は決算審査特別委員会（9月7・8日）に、請願は総務建設委員会（9月3日）に付託して審議しました。

一般質問は14・15日に行い、10名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、決算審査特別委員会と総務建設委員会の審査結果報告をうけて採決を行いました。また、議員提出の意見書2件が上程され審議・採決しました。



議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	岩崎真滋	長良俊一	山本隆史	井戸太郎	稲月敏子	植田いづみ	山口昌亮	森田勝	山田仁樹	下中一郎	馬本隆夫	窪和子
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度平群町一般会計補正予算(第3号))について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	平群町財政調整基金条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
	令和2年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
	令和2年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町下水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度王寺周辺広域市町村圏協議会会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	「樫原山林のメガソーラー開発許可の取り消し等、再審査を求める意見書」を奈良県知事に提出することを求める請願書	不採択	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	
議員提出案	樫原山林のメガソーラー開発許可の取り消し等、再審査を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	
	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

質疑あれこれ

9月議会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

主な質疑

質問 山腹、斜面の維持補修工事は大雨が原因ということながら災害復旧費の対象となるのでは。

答弁 山腹崩壊ということなので、治山事業ということになる。今回、保護すべき施設が山腹の下の方道のみということになり、県の採択基準の中で県補助はつかない。しかし地方債事業としては採択が可能。

質問 この起債の交付税算入はあるのか。

答弁 緊急自然災害防止対策事業債が充当し、交付税算入率は、元利償還金に対して70%となる。

財政調整基金条例の一部改正

地方自治法及び地方財政法の規定により、一般会計の決算余剰金について、2分の1を下らない額を翌年度の歳入に編入しないで積立てる規定を追加するもの。

主な質疑

質問 これまでなぜ条例化していなかったのか。

答弁 奈良県との財政状況の重症警報に伴う合同勉強会を行っている。その中で剰余金の取扱いについては条例化していなかったことがわかった。

税条例の一部改正

令和2年度及び3年度の税制改正にかかる地方税法等の一部改正に伴う改正。

①「個人町民税均等割・所得割の非課税限度額」の判定に用いる「扶養親族」の範囲を扶養控除の取扱いと同様とする。
②特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例について5年間延長し令和9年度までとする。

主な質疑

質問 ①の控除のほうで対象者はあるのか。また、扶養控除の対象となる扶養親族から30歳以上70歳未満の国外居住者を除くこととされたが、国内は既にそのようになっているのか。

答弁 今年度、対象者はいない。また、扶養親族の件は国外居住者に限つてのことで、国内については扶養親族としてカウントされる。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、家庭的保育事業者等の業務負担軽減等を図る観点から、書面で行うこととしているものについて、電磁的記録による対応も可能とする規定を追加するもの。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部が改正されたことに伴い、保護者の利便性向上や保育所等の業務負担軽減の観点から、手続等で書面等によるものが規定または想定されているものについて、電磁的

方法による対応も可能とする包括的な規定を追加するもの。

令和3年度一般会計補正予算（第4号）

歳出で主なものは、人件費の調整、住民基本台帳システム更新に係る準備費、公共施設総合管理計画策定委託、学校施設長寿命化計画策定委託、小中学校修学旅行等キャンセル対応、福貴（中学校）テニスコート用地返還に係る工事費、国保会計及び介護保険会計繰出金。

歳入で主なものは、今年度算定額の確定に伴う地方特例交付金、普通交付税及び臨時財政対策債の調整。補助要件の改正に伴う浄化槽設置事業費県補助金の増額。令和2年度決算に伴う前年度繰越金の増額。雑入では過年度収入で令和2年度低所得者保険料軽減負担金の確定に伴う国庫負担金及び県負担金の過年度収入。

歳入超過分については、財政調整基金積立金の増額により収支の均衡を図り、その結果3億6694万1千円を追加し、歳入歳出予算総額は73億4413万7千円となる。

次頁へ続く

専決処分 令和3年度一般会計補正予算（第3号）

補正総額は440万円。歳出では令和3年5月の大雨により崩落した橈原地区山腹斜面の維持補修工事費200万円、その他、農地災害復旧費で被災した橈原地区農地法面の復旧に伴う測量設計委託料60万円、復旧工事費180万円。歳入では治山事業負担金60万円、農地災害復旧費分担金150万円、県補助金90万円、治山事業債140万円。

主な質疑

質問

教育振興費補助金は新型コロナウイルス感染症により、小中学校の修学旅行が中止された場合の予算措置なのか。

答弁

旅行参加者に新型コロナウイルスの陽性者が出て、それを理由に修学旅行が中止や延期になった場合に旅行会社を支払うキャンセル料を補填するのが保険料で、補正予算額35万7千円。一方、教育振興費補助金は、例えばクラスに複数の濃厚接触者が出て、学校の判断で中止する場合に発生するキャンセル料に相当する額を補填する予算措置。



質問

公共施設総合管理計画策定・学校施設長寿命化計画策定について具体的にどのようなことをするのか。

答弁

公共施設総合管理計画は平成28年度に策定しており、一定期間が経過し、国の策定基準の指針も見直されたことなどから、更に見直しをして充実を図るもの。見直しに当たっては、個別の施設計画を踏まえ、将来の維持管理や更新コスト等を把握する。学校施設長寿命化計画は学校施設の個別計画であり、今後、施設の改修等に係る補助金については、この計画の策定が必須となる。

計画期間は平成28年度策定した総合管理計画の期間を引き継ぐものとし、令和18年度までの計画としている。

質問

今年度普通交付税が2億円増えた理由について、基本的には新型コロナウイルスの関係で税収が減るだろうというのと、一方で需要額のほうはその対策もあつて増えるであろうということ。また平群町の高齢化、特に75歳以上が相当増えてきていることが要因であろうとは思いますが、交付税算入で町税収入がどれくらい減るといふ通知が国からきているのか。

答弁

基準財政収入額のうち市町村民税で約1億円減額されるものと算定されている。

質問

個人住民税、法人住民税、固定資産税の当初賦課決定時の調定額は前年度の令和2年度から比べてどうか。

答弁

個人住民税では約434万6千円の減、法人住民税は約220万6千円の増、固定資産税は約222万4千円の減。



質問

9月議会が終わった時点で財政シミュレーションを出すというが、今年度の実質単年度収支について、どのように見ているのか。

答弁

歳入不足が2300万円弱ある。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響で事業の不用額が見込めなかった部分があるが、歳出の不用額が一定あるということとを想定すれば、今年度の実質収支については黒字になると想定している。

今現在、緊急財政健全化計画

の策定・改定作業等を県と一緒に取り組んでおり、そういったことも含めながら財政シミュレーションについても取りまとめている。一定まとまり次第、お示ししたいと考えている。

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳出で主なものは、国民健康保険基幹システムの更改によるシステム構築に伴う電算委託料の増額。歳入で主なものは、一般会計繰入金でシステム構築に伴う職員給与費等繰入金の増額。89万1千円を増額し、歳入歳出予算総額は23億2405万1千円となる。

令和3年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳出で主なものは、介護保険基幹システムの更改に伴う電算委託料309万5千円増額。介護給付費準備基金積立金で過年度収入及び前年度繰越金の発生に伴う積立金2622万9千円の増額。また償還金で前年度決算の確定に伴う国県負担金等に係る償還金628万9千円の増額を行う。

歳入で主なものは、介護保険給付費国庫負担金及び介護給付費県負担金で前年度決算の確定に伴う過年度分負担金の増額（国1033万1千円、県948万6千円）。また、地域公共交通確保事業県補助金（平群町デマンド型乗合タクシー運行業務）246万6千円。低所得者保険料軽減繰入金で前年度決算の確定に伴う繰入金の増額。介護保険基幹システムの更改に伴う事務費繰入金の増額を行う。

繰越金で前年度決算の確定に伴う前年度繰越金1205万円の増額を行う。歳入超過分については介護給付費準備基金積立金の増額により収支の均衡を図る。その結果、保険事業勘定では3405万6千円を追加し、歳入歳出予算総額は20億1443万6千円となる。

主な質疑

質問

基金への繰入金2622万9千円の内訳は。

答弁

前年度繰越金1205万円、追加交付金2046万8千円。償還金がマイナス628万9千円。

令和2年度 各会計 決算審査特別委員長報告

一般会計

《歳出全般》

質問 産休・育休者の内、保育教諭の人数は。

答弁 令和2年度全体で7人、その内、保育教諭が6人、令和3年度9月現在、保育教諭は7人休暇の状態。

質問 不用額についての考えは。

答弁 令和元年度と比べ令和2年度は多かつた理由として、会計年度任用職員制度が始まり、人件費の不用額が多かつた。また、新型コロナウイルスの影響で医療費や扶助費の不用額が例年より増加した。決算の見込みをしっかりと立てて予算を積算していきたい。

《議会費・総務費》

質問 多く走行する部署でリース自動車を使用し、町所有の自動車をなるべく傷まない、走行しない部署で使用すべきでは。

答弁 次年度以降、見直し、各課連携、協力して考えていきたい。

質問 町ホームページのアクセス件数が大きく伸びた要因は。

答弁 定額給付金への関心、新型コロナウイルス情報取得と考えている。

質問 定住促進奨励金で、効果額が5年間で830万円、年間約166万円で、あまり効果がなかったのではないか、今後の定住促進策はどう考えているのか。

答弁 一定の効果があつたと考えている。制度は一旦終了するが、

今後の人口動態、住民生活形態を調査分析し、ニーズや課題を整理して、個人給付にこだわらず、定住促進施策の検討をしていきたい。

質問 若い世代への家賃補助についての考えは。

答弁 奈良県内他市町村では、財政事情で制度が少なくなっているが、様々な視点から検証していきたい。

質問 広報のカラー印刷の回数を減らした理由は。

答弁 有料広告収入減少などの影響と財政健全化のためで、紙面の構成の工夫で努力したい。

質問 コロナ対策自治会応援補助金の内容は。

答弁 各自治会は、マスク、除菌液、ハンドソープ、サーキュレーター、空気清浄機などを主に購入。

質問 避難所での感染症対策は。

答弁 段ボールベッドや間仕切り、マスク、フェイスシールドを購入した。



質問 ご当地ナンバープレートの製作枚数と決算額は。

答弁 製作枚数700枚、製作委託料74万8000円。8月末現在で202枚利用されている。

質問 投票所が変わって初めての選挙であるが、どのようにすすめるのか。

答弁 投票所が削減された一部の地域で、町バスや公用車による午前1回・午後2回の送迎を考えている。

《民生費》

質問 プリズムへぐりで、雨漏り工事の進捗は。

答弁 令和3年度に1ヶ所、4年度に平面の陸屋根部分の2階

を予定しており、これで終了する。

質問 障害児施設給付事業で、当初予算と比べ、決算の状況は。

答弁 令和2年度は令和元年度より32.9%増加している。

質問 平群北小学校の学童保育事業で3年連続定員オーバーしていることについて、現状と考えるは。

答弁 保育室と指導員を増やし対応している。メインの保育室2部屋の他、ボランティアルームを活用。密集する時間帯は、普通教室も活用している。

質問 こども園の直近の待機児童が11人。ゆめさここども園では0歳児が開所できない事態。どう考えているか。

答弁 保育教諭の確保が非常に難しい。年度途中も保育教諭を募集、有料広告も出し、保育教諭確保について最大限努力している。

次頁へ続く

《衛生費・労働費》

質問 斎場火葬棟の修繕内容は。

答弁 令和2年度は、炉内の壁面の補修、炉の一部改修、ブローアの燃焼ポンプの改修を実施した。

質問 有価物の集団回収減少の原因は。

答弁 古紙は、スマホやタブレット等の普及で、紙の雑誌や新聞が減少していると考ええる。また、役場において29年度から集積場所として回収している。こちらの利用も考えられる。また可燃ゴミとして出されている部分もある。

質問 可燃ゴミの有料ゴミ袋の在庫数は。

答弁 令和2年度末で、45リットルが約18万枚、30リットルが約16万枚、20リットルが約20万枚、10リットルが約18万枚、合計約72万枚の在庫がある。

質問 公共下水の緑ヶ丘の進捗状況は。

答弁 緑ヶ丘は5地区あり、2地区は接続済み。1地区は管の更生工事を行なっている。更生工事後、流量調査し、接続するという予定。残りの2地区は令和4年度、5年度に1地区ずつ接続していく。

《農林水産業費・商工費・土木費》

質問 公園管理費の修繕状況は。

答弁 若葉台2号公園のフェンスの修繕で総延長約300メートル、5年間の事業で、令和2年度は、85メートル修繕。その他、防犯灯の球の交換など。遊具は、簡易的に修繕はしているが、大規模な修繕はしていない。

質問 平群産の農産物を使ったお菓子等の加工食品の開発、取り組み、成果は。

答弁 さつまいものパウムクーヘン、ゆずのジャム、ゆずソフトクリーム、梅酒、近大みかんによる無添加みかん酒を生産販売している。今後は、近大と特産品の開発、日本酒の松永弾正ラベルでPR、鳴川で栽培

されたキノコ、無添加みかん酒の本格生産をしたい。

質問 町道鳴川路線の拡幅計画は。

答弁 用地確保できた箇所は、仮設で拡幅工事を実施し、通行車両の安全確保に努めたい。残りの用地確保については、1業者と6名の方の所有で、交渉に努めていきたい。

《消防費・教育費》

質問 小中学校のトイレの洋式化と自動水栓設置の現状は。

答弁 トイレの洋式化は、北小学校は東館仮供用中、西館9月末頃に仮供用開始予定。中学校の多目的トイレは10月に工事完了予定。自動水栓は、小中学校全てに夏期休業期間に設置済み。

質問 白石畑の旧家で発見された古文書についての成果は。

答弁 総合文化センターで開催した生涯学習講座で紹介。今後史蹟を守る会によるパネル展示や講演会も予定されている。

令和2年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

会計区分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越す財源	実質収支額
一般会計		9,304,284,201	9,056,237,424	248,046,777	41,396,200	206,650,577
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	10,760,665	2,493,274	8,267,391	—	8,267,391
	国民健康保険	2,328,816,884	2,198,993,688	129,823,196	—	129,823,196
	農業集落排水事業	32,875,032	32,875,032	0	—	0
	学校給食費	58,380,534	57,159,963	1,220,571	—	1,220,571
	介護保険（保険事業勘定）	1,955,773,165	1,943,723,331	12,049,834	—	12,049,834
	奨学資金貸付事業	132,000	132,000	0	—	0
	後期高齢者医療	436,602,595	436,396,495	206,100	—	206,100
	用地先行取得事業	13,482,618	13,482,618	0	—	0



質問 総合文化センター運営経費で予算額約9200万円に対し、執行額約7200万円の理由は。

答弁 コロナ禍で4月から5月末まで休館した。また、その後もホール等の使用のキャンセルが相次いだことで、光熱水費、主に電気代が安くなった。

質問 こども園や小中学校の抗原検査キット配布の状況は。

答弁 小中学校に対し国からの割り当ては70個。教育委員会で一旦保管し、事案発生時にその校園に配布する。

質問 ウォーターパークの存続についての検討は。

答弁 スポーツ協会や教育委員会、社会教育委員の意見を聞いている。また、町の広報誌等で町民からの意見を募集した。

町としては、老朽化と財政面の両方の観点から、ウォーターパークの廃止、利活用の方向で慎重に検討している。

《災害復旧費費・公債費・予備費》

質問 公債費11億円の内、駅周辺整備事業や総合文化センターの建設についての債務返済額は。

答弁 令和2年度は、元金償還で駅周辺整備事業は約1億4000万円、総合文化センターは約1400万円。

《歳入全般》

質問 自主財源比率が26.6%。どのように考えているか。

答弁 自主財源比率は極めて低い。今ある資産などを有効活用し、少しでも自主財源の割合を増やしていけるよう、いろいろな取り組みをしていきたい。

質問 固定資産税の償却資産

が予算より600万円上回った理由は。

答弁 申告件数が18件増加したこと、その内1件が大きな工場で償却資産が高額であったのが要因。

反対討論

地方交付税や地方消費税交付金などの増額で収支は黒字になったものの、固定資産税の超過税率を続けている。待機児童の発生が常態化している。ゴミの減量については有効な対策を打てておらず、逆に増量。住民の暮らしに寄り添ったとは言えないことから反対する。

賛成討論

コロナ禍で感染予防を行いながら、住民の暮らしを守るため誠実に取り組まれた。財政面で、当初予算2億1337万円の未確定財源がありながら、実質収支は黒字。実質単年度収支も黒字となった。新たな町債の発行を抑え、町債残高全体の縮減を図ることを願って賛成する。

次ページへ続く

水道業務実績

	単位	令和2年度	令和元年度	比較
給水件数	件	8,101	8,044	57
年間総配水量	m ³	2,224,688	2,258,503	△ 33,815
年間有収水量	m ³	1,907,910	1,867,083	40,827
有収率	%	85.7	82.7	3.0

※有収率…料金収入を得た割合(年間有収水量/年間総配水量×100)

水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

		令和2年度	令和元年度	差引
収益的収支	収入	509,557,308	490,179,002	19,378,306
	支出	510,780,567	559,924,018	△ 49,143,451
	差引	△ 1,223,259	△ 69,745,016	68,521,757
資本的収支	収入	16,780,000	29,401,680	△ 12,621,680
	支出	54,509,506	65,969,088	△ 11,459,582
	差引	△ 37,729,506	△ 36,567,408	△ 1,162,098

下水道業務実績

	単位	令和2年度	令和元年度	比較
処理区域面積	ha	184.65	183.05	1.60
行政区内人口	人	18,657	18,771	△ 114
処理区域内人口	人	10,206	10,257	△ 51
普及率	%	54.7	54.6	0.1
水洗化人口	人	9,581	9,573	8
水洗化率	%	93.9	93.3	0.6
年間有収水量	m ³	1,069,461	1,033,193	36,268

※普及率…(処理区域内人口/行政区内人口×100)

※水洗化率…(水洗化人口/処理区域内人口×100)

下水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

		令和2年度	令和元年度	差引
収益的収支	収入	454,131,159	333,037,786	121,093,373
	支出	390,542,828	386,986,367	3,556,461
	差引	63,588,331	△ 53,948,581	117,536,912
資本的収支	収入	105,504,750	311,463,000	△ 205,958,250
	支出	221,186,792	310,023,991	△ 88,837,199
	差引	△ 115,682,042	1,439,009	△ 117,121,051

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

質問 令和2年度末までの起債残高と滞納状況は。

答弁 起債残高は約301万円、滞納件数は30件、滞納人数は15人、滞納額は、8002万円。

国民健康保険 特別会計

質問 保健事業の利用者が減少している要因は。

答弁 新型コロナウイルスの影響で、人間ドックの受診者率が減少したのが大きな要因と思われる。医療機関が受け入れを抑制していることに加えて、申し込み後にキャンセルした方もいた。



農業集落排水 事業特別会計

質問 現在の対象件数、接続件数は。

答弁 対象90件、ただし、空き家6件含む。接続件数は、現時点で59件。

学校給食費 特別会計

質問 地元野菜使用の減少要因は。

答弁 4月5月に新型コロナウイルスで学校が休業となり、6月は給食再開時期の見通しが立たず、発注できなかった。7品目減少。

介護保険 特別会計

令和2年度は5農家と契約、令和3年度は8農家と契約している。

質問 第7期の3年間で計画値に対して、その実績が84%であったことへの総括は。

反対討論

答弁 介護度3以上の方が計画ほど実績では増加しなかった。居宅サービスで、介護認定者数が計画ほど実績では増加しなかった。コロナ禍によるサービスの利用控えによる影響が大きい。また、地域密着型サービスも、コロナ禍の影響が要因と考える。

賛成討論

7期の計画と実績との乖離は15・7%、約9億5000万円であり、7期の3年間で約2億7500万円積み上がり、7期末の剰余金は約4億6500万円に上る。保険料を取りすぎであることから反対する。



町議会をネットで視聴できます



平群町議会は、本会議の様態をインターネットで録画配信していますが、スマートフォンでも視聴が可能になっております。町のホームページもしくはQRコードからアクセスできます。

【注意】動画の視聴には、大量のデータ通信量が発生しますので、Wi-Fiまたは定額通信サービス環境での視聴を推奨します。

要介護状態でも安心して生活できるように予算が組まれている。本事業を引き続き推進することに期待して賛成する。

今後、少子高齢化が進み、保険料収入が減少し、支出の給付費が上昇するのは明白。基金残高により、引き続き安心してサービスを利用できることから賛成する。

議会の動き

議会運営委員会

※令和3年平群町議会第6回定例会の議会運営について

8月20日

公共交通対策特別委員会

※令和2年度平群町地域公共交通会議収支決算報告
※令和2年度コミュニティバス利用実績報告について
※デマンド型交通運行計画について

7月21日

総務建設委員会

※執行後における政策評価について

8月26日

文教厚生委員会

※執行後における政策評価について

8月26日

議員提出議案

櫛原山林のメガソーラー開発許可の取り消し等、再審査を求める意見書（案）

（否決）

提出者 山口 昌亮
賛成者 植田 いずみ
稲月 敏子

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書（案）

（原案可決）

提出者 稲月 敏子
賛成者 植田 いずみ
山口 昌亮

用地先行取得
事業特別会計

後期高齢者
医療特別会計

奨学資金貸付
事業特別会計

水道事業会計

質問 人口減少の中で健全経営をどう進めていくのか。

答弁 施設や配管が老朽化し、更新費用が増加。市町村単独での経営では、水道料金の値上げが避けられない状況。奈良県全体で統合し、施設の統廃合を行うことで更新費用を抑えていきたい。

下水道事業会計

質問 令和7年に奈良県の企業団ができた場合、平群町行政との関わりは。

答弁 企業団が独立した組織として運営していくが、一般会計からは、引き続き繰り入れる。



以上、11件の一般会計・特別会計・事業会計については認定することになりました。

決算審査特別委員会

委員長 井戸 太郎

★本紙へご意見をお寄せください。
今後の紙面作りに活用させていただきます。

*FAX 49-0145

*メール

gikai@town.heguri.nara.jp

総務建設委員長報告

請願第1号「櫛原山林のメガソーラー開発許可の取り消し等、再審査を求める意見書」を奈良県知事に提出することを求める請願書

この請願の趣旨は、申請書の偽装や工事着工後の災害防止の不備など、当該事業者はこの開発行為を行う事業者としての適格性に疑義があることから、開発許可の取り消しも含めた審査を奈良県森林審議会に諮ることを求めるものです。

質問 町当局に、数字を偽装した申請書を県に提出して、だましたこのような業者をどのように思っているのか。

答弁 業者に対する信用というのは、実績があつて発生するものであることから、客観的にはまだ信用するというような段階には至っていない。

質問 請願代表者に、住民が安心して暮らせる審議会を再度していたくことは非常に大事

であるが。

答弁 従来の流れ方と変わらないようにするための仮設の調整池が必要になるが、それが無い状態で開発されている。申請書の勾配が危険なため、安全上問題がないかを審議していただきたい。

質問 町当局に、町道に送電管を埋めることについては、自治会の同意が必要なのか。

答弁 法的には許可条件として絶対ということではない。片側通行の場合、従来から自治会同意までは指示していない。車両通行止めの場合、同意書の添付を指示している。

質問 請願代表者に、現在、工事はストップしているが、台風等が到来すれば非常に危険であり、安心安全を確保するために、直ぐにでも進めなければいけないことがあるのではないのか。

答弁 台風等が来ても大丈夫なように50年確率で耐えられるような、防災調整池設置を業者に指導するように申し入れしている。また、下流住民に対しても説明するという確約ができた上で、緊急防災工事を進めてくださいとお願いした。

質問 町当局に、下流住民に対しての説明会について、業者への指導はどのようになっているのか。

答弁 下流域の住民や、送電線を埋設する予定の自治会に、これまでの経過も含めて説明をするように、今後とも指示していきたい。

質問 請願代表者に、今工事がストップして、開発許可が取り消された場合の防災工事は誰が行うのか、また、このままの状態で放置されることが1番心配であるが。

答弁 現状が非常に心配ということ以上に今後どうなるのかということ、事業は継続するのか、途中で撤退されるのかということは、考えていかなければいけない。そのための緊急防災工事を申し入れしている。

反対討論

林地開発の許可権者は奈良県にあり、我々平群町議会が、異論を唱えるのは、越権行為ではないかと考える。現在、係争中の案件であり議会議員としての中立公平な立場としては是非を明らかにすべきではない。また、町内約6000筆もの署名の重さも十分受け止めなければならぬが、許可権者の県が今後、再審議をすることについて検討いただき、平群町の山林山野がどのように進んでいくのかということを考えていただけるものと思うことから、本請願には反対する。

賛成討論

48ヘクタールもの広い山地をずたずたにして、谷を埋めパネルを6万枚も張り巡らすという、この事業に対して恐ろしさを感じている。いくら再生エネルギーの構築だといえども、やつてはいけない開発だ。7月2日に起こった熱海の土石流は、非常にショックを受け、繰り返してはいけない。住民の命と財産を守っていくのは、町議会の最も大事な役割ではないか。林地開発の審議会のやり直しをしていただき、許可の取消しをしてもらえよう、本請願には賛成する。

採決の結果、請願第1号は、挙手少数により不採択すべきものと決定しました。



総務建設委員会

委員長 馬本 隆夫

請願文書表

「櫛原山林のメガソーラー開発許可の取り消し等、再審査を求める意見書」を
奈良県知事に提出することを求める請願書

受理番号 第1号

受理年月日 令和3年8月19日

要 旨

申請書の偽装や工事着工後の災害防止の不備など、当該事業者はこの開発行為を行う事業者としての適格性に疑義があることから、開発許可の取り消しも含めた審査を奈良県森林審議会に諮ること。

理 由

平群町櫛原地区の山林48ヘクタールへのメガソーラー開発(太陽光発電所建設工事)は2019年11月、奈良県において開発許可が出されました。そして、今年2月中旬から大規模な伐採工事が行われましたが、事業者が奈良県に提出した開発申請書類の偽装が発覚しました。これを受けて奈良県は6月に事業者に対し工事の停止を命じ、開発工事はストップしています。

今回、明らかになった申請書の偽装は、開発地から放流する下流域の河川や水路の流量能力にかかわるもので、土石流や洪水など下流域への災害に直結する重大な偽装です。また、事業者は、工事着工にあたって設置すべき防災施設(沈砂池や調整池)を、県の許可条件や自らの計画どおりに設置していないことも明らかになりました。

現在、工事はストップしているものの、開発地の山林の大半が伐採され、山肌がむき出しになっています。このメガソーラー開発については、計画が明らかになった一昨年から、多くの住民から自然環境の悪化や災害誘発の危険を危惧する声が出されていましたが、最近の異常気象から、現状でも危険な状況です。早急な防災措置が強く求められます。

請願者 平群町椿台1-3-17 多田 恵一

平群町菊美台3-2-24 須藤 啓二

紹介議員 山口 昌亮 ・ 植田 いずみ ・ 稲月 敏子

付託委員会 総務建設委員会

議会懇談会を開催しました

令和3年8月20日、平群町役場において、平群のメガソーラーを考える会の代表の方と平群町議会(総務建設委員会)で懇談会を開催しました。

(懇談内容: 櫛原地域におけるメガソーラー建設事業についての懇談会)

◇新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、限られた時間ではありましたが、意見交換を行うことができました。



町政を問う！ 一般質問一覧

山田議員	1. コロナ感染症における医療対応並びにPCR検査について 2. 国道168号線の協和橋東詰交差点改良について
下中議員	1. 防災協定の締結について 2. 相互応援協定の締結について
山口議員	1. 櫛原山林のメガソーラー開発について 2. 町広報誌の配布方法について
稲月議員	1. 町内の産業用太陽光発電所について 2. 道路の破損や危険箇所通報装置導入について 3. 町内近鉄線の駅員巡回配置について
長良議員	1. 教育委員会総務課の今後のあり方について 2. 経済建設課の連携関係について 3. 令和4年度における町行政の展望について
岩崎議員	1. ヤングケアラーについて
馬本議員	1. 矢田山に（仮称）東西線道路を 2. デマンド交通について 3. 総合スポーツセンター運営について 4. こども園運営について
植田議員	1. ごみ減量対策について 2. こども園の待機児問題について
森田議員	1. 出生者の減少による小中学校のあるべき姿について 2. 農業用水の管理について 3. 竜田川を鮎が泳ぎ、蜆が飛び交う川に
井戸議員	1. 新型コロナデルタ株による感染爆発対応について 2. 大規模太陽光発電事業に関する条例の制定を 3. 公共交通の観点も踏まえ、地域別の投票率を調査し投票所へ行ける様に改善を

人権擁護委員候補者推薦

山田 三千子 氏

住所:平群町若葉台



乾 宏美 氏

住所:平群町北信貴ヶ丘

※ご本人の希望により、写真の掲載は控えさせていただきます。

山田三千子氏、乾宏美氏は適任であるとの意見で答申することに決しました。

お悔やみ

下中一郎議員（71歳）が、9月30日にご逝去されました。

下中議員は、平成11年4月に議会議員に当選され、議長として5年間、また各常任委員会や特別委員会の委員長を歴任され、長きにわたり地方自治の発展のために尽力されました。

これまでの議員活動の業績を称えるとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



国道168号協和橋東詰 交差点改良について



山田 仁樹



質問

バイパス沿いの店舗等を利用された方々が、国道東側の歩道を歩いてこられ、協和橋交差点、南側の横断歩道まで進まないで、旧橋井交番所跡地の前を渡ろうとされる人が多く、協和橋から青信号で北側・南側へ進行しようとする車両と交錯するという、大変危険な状況をよく目にします。

国道南向き右折車両が赤信号で右折してきた時、協和橋西宮側からの車両が青信号になっても交差点に進入出来ない状況となり、通過可能車両台数が3台以下になつてしまふ事もよくあります。

①協和橋南側歩道の延長上に横断歩道移設を?

②信号の順序を橋井からの信号が先に青になり、次に協和橋西宮側からの信号が青信号に変わるように変更、協和橋の青信号時間を長くし、車両の流れがスムーズになる改良を?

答弁

①歩道の切り下げ、信号機の移設等多様な経費が必要。今ある横断歩道を利用いただくよう啓発により対応したい。

②信号の順番を変える事はシステムの不可能。協和橋の信号は青色10秒だが、これ以上長くすると、国道本線の渋滞が加速する懸念がある。



防災協定の締結について



下中 一郎



質問

地震・大雨・暴風等による大規模な災害が発生した場合に、被災者へ一刻も早く提供しなければならぬ食料品・衣料品などの生活必需品や医薬品などの物資を確保して、町民の安全・安心を図ることが重要です。

しかしながら保管場所や数量的な問題もありまふ。そのよつな中で今回、燃料電池車などによる電力供給の協力協定を締結すべきと提案致します。

例えば、指定避難場所や避難されてきた町民の医療機器の使用やスマートフォンなどの充電などに役立たせることです。

給電のできる燃料電池車を約30台所有されており、災害時には貸し出しを行つたり、防災訓練の参加も考えておられる奈良トヨペット、ネットヨタ奈良との協定の締結を考えるべきと思つた。

答弁

災害時に備えた燃料電池車などの活用については、国土交通省や経済産業省が連携しながら周知、啓発が図られており、全国的にも多くの自治体で自動車メーカーと協力協定を締結している状況です。本町においても、それら自動車メーカーに働きかけを行い、協力協定締結に向け取り組んで参りたい。



櫟原山林の メガソーラー開発について



山口 昌亮



質問

①事業者は今年2月、開発計画の変更申請を許可権者の県に提出すると同時に山林の伐採工事を始めた。変更許可を受けずに工事を着工したことに問題はないのか。

②計画変更で影響を受ける樫台住民への説明が必要。町の見解は。

③大規模な伐採に伴って設置すべき防災施設は設置されていたのか。

④事業者は防災計画通り



答弁

施工をしていたのか。
⑤申請の虚偽部分(放流水路の流量)の改善は可能か。

①変更申請の内容で、土の切り盛りがあれば問題だが、樹木の伐採は県も問題視していないと理解している。

②当然、必要と考えている。県にも意見書を提出し、事業者へも要請している。

③樹木の伐採だけが完了して、工事が停止になり、2力所の沈砂池だけが施工済という中途半端な状況にある。

④防災対策は不十分。現状は危険な状態。

⑤下流域の水路の流下能力に影響しないように事業地内でそれに必要な調整池を設置するのが開発の原則。当然、調整池は大きくなる。町では規模は承知していない。

町内近鉄線の駅員 巡回配置について



稲月 敏子



質問

町内の近鉄生駒線はすでに竜田川駅、元山山口は無人駅、その上、10月1日から平群駅、東山駅の2駅が係員巡回駅となり、一人の係員が3駅を巡回、車イス対応などで移動し、無人となる時間が作られるとの近鉄からの報告を聞いた。

乗降客減少が理由らしいが問題は大きい。

①平群駅は町の顔、路線バス、コミバス等の中心駅、公共施設もあり、障がいを持った人も含め、多数が乗降する。

②平群駅は列車行き違い駅、脱線の危険性がある。

③王寺方向には踏切を渡る駅で危険性が大。

④障がい者の乗降も多い。

⑤東山駅は近大病院もあり、配慮が必要な人の乗降が多く、エレベーターやエスカレーター等もあり、機械類の故障も考えられる。

⑥平群駅・東山駅は本年4月から自動券売機が1台に減少。

答弁

この事態について町はどのように考え、どう対応しているのか。

事故、急病等の対応が可能か、大変憂慮する事態と認識している。

住民の安全、利便性が守れるように、近鉄へ関係自治体首長が連名で要望書を提出した。



令和4年度における 町行政の展望について



長良 俊一



質問

令和3年度の予算執行も半年が過ぎました。令和2年度の出納閉鎖を終え、執行後の反省を踏まえ、令和4年度の指針を示す始まりと考えます。時勢を考慮し、流れを考え、導いていく事が大事と考えてなりません。令和3年度に部制に編成し、節約を心掛け、町民に安心安全を届けるがために変革をしたことをお聞かせください。



答弁

町財政は、公債費の増加や少子高齢化による町税収入の減収、公共施設の老朽化対策など、山積した行政課題に対応していかなければならず、将来負担を減らしていくことが何より重要なことと認識しています。

部課長会議では、職員の事務負担の減に向けた取り組みとして、紙での資料配布の廃止、庁内職員間の通知文書の廃止や事務見直しを徐々に進めています。

行政戦略会議では、横の繋がりを強化すべく、課題を出し、改善に向けた協議を行っています。

現在、奈良県と「緊急財政健全化計画」の見直しと支援について協議を重ねています。このことについても、実効性のあるものとしてまいります。

ヤングケアラーについて



岩崎 真滋

質問

通学や仕事をしながら家族の介護や世話を日常的におこなっている、18歳未満の子ども「ヤングケアラー」について、町の相談件数や支援策、また、学校での実態把握と対応策は?

答弁



00人)を対象に実態調査を実施され、8月に平群町でヤングケアラーと考えられる生徒が2件あったとの報告があった。ただ、潜在化しやすいことも有り、学校や教育委員会との情報把握に努める。

相談等あった場合の支援策は、学校等からの情報を共有し、必要に応じて、福祉なども課や教育委員会、小中学校のほか、奈良県中央子ども家庭相談センターなどの関係機関で構成する「平群町要保護児童対策地域協議会」で対応することとしている。

学校では、学業等に支障が出ていないか等、担任が状況把握に努めており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの助言も頂き対応する。



矢田山に (仮称) 東西線道路を



馬本 隆夫



質問

将来の平群町発展がかかっていると言っても過言でない、(仮称)東西線道路建設事業は、平群町の事業ではなく奈良県の事業であります。私はH6年から17回にわたって一般質問を行ってまいりました。H29年度からは、広域的なメリットが期待できることから、郡山土木協議会(大和郡山市・生駒市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町)の統一課題として、県に毎年要望されております。

答弁

な道路と認識しています。実現に向け関係課及び関係人に要請の努力をしてまいりますと答弁されましたが経過を報告下さい。

8月30日に郡山土木事務所長が訪町された。県は大規模な新規事業でもあり、ハードルが非常に高い事業であるとの回答でありました。今後引き続き、郡山土木協議会を通じて積極的な取り組み要望活動を行ってまいります。町長は新型コロナウイルスの感染状況もありますが、建設実現に向けた要望活動等、努力してまいります。



ごみ減量対策について



植田 いずみ



質問

町はごみ減量に有効だとしてH25年10月から可燃ごみの有料化をスタートさせた。しかしH29年度以降は前年度を上回る状況が続いている。特にH30年度(目標値3050t・実績3286t)、R元年度(3050t・3434t)、2年度(3050t・3599t)と乖離が広がっている。この現状をどう分析しているのか、また3年度は目標値を3250tに引き上げるなど、

減量と逆行する処理計画となっている。ごみの減量にどのような方策を持って取り組もうとしているのか。

総合的なごみ減量対策を行政が持ち、住民への理解と協力を得て減量につなげることが求められる。近々に総合的な減量対策の計画を作るべきではないか。

答弁

有料化による減量意識が次の減量対策を行えないまま5年が経過し減量意識が薄れたと考える。今後の方策については、以前から提案されている生ごみ等の堆肥化やその他方策を検討するが、収集体制や設備の費用、新たな人員配置等考えると財政が厳しく新たな方策の打ち出しが困難である。総合的な減量対策も含め検討していきたい。



出生者の減少による 小中学校のあるべき姿



森田 勝



質問

本町の新生児は、令和2年72人、元年80人、平成30年92人、29年84人、28年93人、27年105人、26年74人と、ほぼ、ここ10年100人を切っており、昨年は初めて80人を切り72人でした。また転入を加えた年少人口は、0歳児は77人、1歳児は94人、2歳児は103人、3歳児は117人、4歳児は116人、5歳児は137人となっている。

この状況では、小学校1クラス児童35人学級とすると、1学年3クラスあれば十分足りる訳で、中学校も同様で、令和2年の人口は77人であることから、場合によっては2クラスで良いと言わざるを得ない状況になる。



①令和3年以降も、出生者や年少人口とも減少が続き、人口減少対策は喫緊の課題と捉えている。
②より良い教育、より良い教育環境の整備を基本に児童生徒数の推移を注視しながら、学校を取り巻く環境の変化に応じて、小中学校のあり方を検討してまいりたい。

答弁

そこで、町は出生者や年少人口の減少をどのように認識しているのか。それに伴い、小中学校のあるべき姿を示す時期にきているのではないか。

大規模太陽光発電事業に 関する条例の制定を



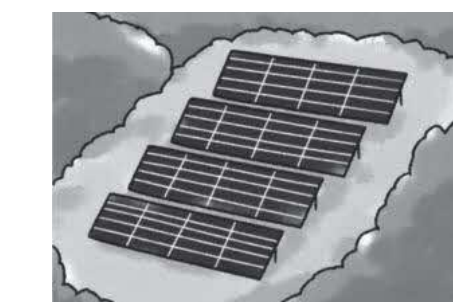
井戸 太郎



質問

平群町で大規模太陽光発電事業が次々と参入している。
ローズタウン若葉台北側、若葉台西側の約2メガワットの発電がこの9月頃、開始される予定。また、櫛原の広域農道北西側では、その10数倍のメガワット発電事業が、森林の伐採後、危険な状態のまま、県への虚偽申請により事業が停止している。

平群町としても不正な太陽光発電事業には厳しく対応する必要がある。
そのためには、今ある要綱では弱く、罰則を伴う条例を定めることが必要。
今議会に合わせて、私独自で条例案を作成した。定期的に急ぐ必要があり、議員発議で条例制定を考えていた。しかし、町長をはじめ、職員、議員の方々の御意見を頂戴し、行政と一緒に、より良い条例を作る方向で検討し、発議を取りやめた。



答弁

どのような形が相応しいのか議論し、速やかに条例制定に向けて取り組みたい。

町 の 話 題

いっぱい・およいでいる～



平群町菊美台在住の清水正和さん(68)の作品「いっぱい・およいでいる～」が、第43回よみうり写真大賞(読売新聞社主催)「マイベストフォト部門第3期」入選に輝きました。清水さんは2年前に菊美台自治会長を務められ、つい先日菊美台集会所で開催された写真展に参加されるなど、日常の地域コミュニティ向上に積極的に取り組まれています。この作品に寄せた清水さんのコメントです。

竜田川まほろば遊歩道の鯉のぼりは、ご年配の方や子供さんが散歩をしながら楽しめて、とても心がほっこりする地元平群の大好きな撮影ポイントです。毎年撮影に訪れていますが、その環境整備にご尽力されている「竜田川まほろば遊歩道」推進の会、主催関係者の皆さまにも感謝しています。

スナップ写真が好みで日常的な光景を被写体を選んでいきます。この作品は夕陽を背景にシルエットで切り取りました。このように人が写り込むことで、様々なストーリーが想像できてとても楽しいです。また、近鉄生駒線の車窓からも鯉のぼりと竜田川とのコラボレーションが楽しめることもあり、今回の入選で町外や県外の方々に向けた観光情報の発信になればと思っています。

「定年後の趣味として始めて約10年。初めての応募で入選となったこと、自分の好きな写真が評価されたことはとても嬉しい」と、喜びの声もいただきました。

山本 記

お知らせ

◆議会報告会◆

◆先進地視察◆

◆中止について◆

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止することと決定しました。

編集後記

東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、多くの皆さまは不要不急の外出を控えて、テレビ越しに応援されたことでしょうか。

私の中で特に印象的だったのは、数々のウルトラCを決めている体操界のレジエンド、内村選手の予選敗退。「猿も木から落ちる」とは、まさにこのこと。

今回の議会だよりは、主に令和2年度平群町一般会計決算、各特別会計・事業会計決算について記載しております。

令和2年度の一般会計歳入歳出決算は、2年連続の黒字となりました。町行政の内部努力や、町民の皆さまが「協働」によるまちづくり」に貢献して頂いた賜であります。

令和2年11月に奈良県から財政状況の重症警報が発令された平群町は、今後も財政のウルトラCを決め続けなければなりません。

山本 記